

汎用遠隔操縦装置「サロゲート」による無人化施工

- 工事名：令和6年度能登半島地震 能越自動車道 道路啓開工事その3
- 活用企業：株式会社 大林組
- 開発企業：株式会社 大林組、大裕 株式会社 (NETIS番号 [KT-200123-A](#))

○国道249号(大川浜工区) 施工者：(株)大林組

- 令和6年能登半島地震による国道249号の大規模被害箇所は通信を含む主要インフラ(通信・電気・ガス・水道等)が寸断されており、衛星(スターリング)と現場内無線を整備して様々な新技術の活用を検討していた。
- 輪島市町野地区と名志見地区を結ぶ重要な幹線道路である国道249号を早期に1車線交通確保すべく工事を進めているが、多くの建設・運搬機械が輻輳しているため、労働災害の発生確率も高くなることから、安全かつ円滑に施工を行う必要があった。
- 当該現場では、生産性向上にも寄与する遠隔操縦のICTバックホウ(MG)による法面整形等を無人化施工で実施している。
- 本技術は、特殊な工具や技能が不要で簡易に各種建設機械への後付けを可能にした着脱式の遠隔操縦装置で、メーカーや機種を限定せずに着脱でき、汎用的に遠隔操縦化が可能となるため利便性の向上が図れる。

